



チーム玉龍

2020-4-30(Thr.)

鹿児島玉龍高等学校
進路指導部通信

(生徒版) No.001

『明日への希望を持って…』

「10年1昔」という言葉を耳にしたことがあると思う。「3昔」前から日本サッカー界を牽引する選手がいることをみなさんは知っているだろうか?どんな苦境でも、幾度となく希望のゴールを決め続けた、“キング・カズ”こと三浦知良選手。高校を中退して単身日本を飛び出し、ブラジルに渡り技を磨き、サッカーブームに沸く中で生まれたスーパースター。フランス W 杯でまさかの代表落選を経験した。誰もが言葉を失った。しかしカズは、失意の中から這い上がり、挑戦への歩みをとめず、53歳を迎えた今でも、J リーガーとして、ピッチに立つ準備を欠かさない。その姿は、まさにレジェンド。現在、コロナ禍で先行き不透明な状況の中、明日への勇気を得て欲しいと願いを込めて、“キング・カズ”の記事を紹介します。

2011年の春もまた、悲しみとやりきれなさに日本中が覆われていた。9年前の3.11 東日本大震災。地震と津波で、今のウイルスとは状況も違うが、東日本ではみんなが外出を控え、自粛するという部分では似た状況があった。そんな中、震災からわずか18日後に行われたのが、Jリーガーによるサッカーのチャリティーマッチだった。後半17分、カズがピッチに登場すると、スタジアムは最大級の歓声に包まれた。観衆が一体化し、彼の一举一動を見守った。そして後半37分、奇跡の瞬間がやってくる。GKの蹴り上げたボールが前線の選手を経由して、カズの前へと落下。カズはそのまま走り込み、追いつがるDFを振り切る。シュートしたボールは、飛び出してきたGKの頭上を越え、ゴールネットへと吸い込まれていった。その瞬間、4万人の大歓声がスタジアムにとどろいた。歓声が上がらず思わずガッツポーズをとる記者もいた。日本中がカズのゴールを祈るようにして待っていたのだ。みんなが心震わせた「希望のゴール」だった。当時彼はすでに44歳。誰もがカズの紆余曲折の人生を知っているからこそ、絶望の真ただ中でそこに光と希望を見たのだ。試合後のインタビューで彼はこう答えた。「毎日同じことを続けること、コツコツやっていたらいいこともあるということが、多くの人々の気持ちとつながったのかなと思った。あのゴールはもういいんです。僕はそれに酔ってはいけません」



これまで、積み重ねてきた文武両道の足跡は決して消えることなく、家族や仲間、先生方に確実に届いています。届いているからこそ、これからのみなさんの更なる成長や頑張りに期待してしまいます。ウイルスに惑わされることなく、ぶれない芯を持って、“キング・カズ”のように挑戦への歩みをとめずに、目標に向かって準備を進めましょう。また、カズの言葉に次のようなものもあります。「ゴールは大事だけど、それよりも大事なことは、そこに向かっていくプロセスです。ゴールをとりゃいいんだろ、と逃げずに努力を続けることが大事、と自分に言い聞かせています」

カズの生き方から学ぶ事は多くある。 ~Sports Graphic Number 1001より 一部引用~

『未来への架け橋“Use it!?”』

臨時休校から1週間が経ちました。生活のリズムは崩れていませんか?ジョギングや趣味などのリフレッシュもしながら、目標に向かって前進して欲しいと思います。予測のしづらい毎日ですが、このような状況だからこそ是非活用して欲しい1冊が「未来への架け橋」です。

みなさん、“Use it!”していますか?朝目覚めたら、その日、どの時間に何をすべきかを具体的に書き込み、自分に負けず、実行に移しましょう。1日のシメの作業は学習時間の記録です。まずは、各教科の学習時間を数字で記録。そして、その数字に合わせて、左下のマスを塗りつぶしましょう。この作業を継続することにより、教科バランスや、

時間の配分等を可視化できるようになりますよ。

今週の学習を振り返ることが、次につながることを確認できます。今までの学習習慣を改善できる、あなただけの「未来への架け橋」。

是非、Use it!



進路指導部行事

予定

- 5/ 7(木) 総探(3年は小論模試・志望理由書)
- 5/ 9(土) 土曜講座(全学年)
- 5/14(木) 総探(2年はコース別研究事前学習①)
- 5/21(木) 総探(集団読書会)
- 5/27(水) 前期中間考査時間割発表
- 5/28(木) 生徒総会
- 5/30(土) 土曜講座(1・2年)
- 5/31(日) 3年進研マーク模試(~31日)
- 第1回英検→6/28(日)に延期